

NO	委員名	意見	対応	記載内容等
新かながわグランドデザイン基本構想（案）について				
1	末富委員	<p>「希望に満ち信頼あふれた学校づくり」の2点目について、「学びを支える外部人材の確保」とありますが、今現場のニーズが高いのがスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーです。現場を応援していることが明確に伝わるように、こうした専門職の確保について記載する必要があります。</p>	基本構想（案）に反映しました。	<p>(1) 子ども・若者・教育<P23> （子ども・若者が心豊かに育ち自立できる社会づくり） ● 子ども・若者の不登校やひきこもりなどへの対応についてNPOなどと連携を図りながら、子ども・若者やその保護者が相談しやすい体制を充実させるとともに、デジタル技術や専門人材なども活用しながら、いじめや不登校の未然防止、多様な学びの場の確保などに取り組みます。</p>
2	末富委員 米田委員	<p>・「時代や社会の変化に対応した学びの推進」の2点目について、「生涯学習の機会の充実」だけでは不十分です。本来、生涯学習は大人自身の社会参画のための学びであるという理念を踏まえ、記載をより充実する必要があります。</p> <p>・社会の支え手が減少していく中で、地域を元気にする担い手が大切になってきますが、実際に何かやりたいことがある人は多くありません。県民が何かきっかけを持てるように応援していくといった施策を記載する必要があります。</p>	基本構想（案）に反映しました。	<p>(1) 子ども・若者・教育<P24> （時代や社会の変化に対応した学びの推進） ● <u>県民が生涯にわたって能動的に学び、自分らしく活躍できるように、</u>一人ひとりの学習意欲と多様なニーズに対応した生涯学習の機会の拡充を図ります。</p>

NO	委員名	意見	対応	記載内容等
3	小池委員	医療依存度の高い子どもたちや家族が支援を受けながら未来を作っていく、活動していく、教育を受けていくことが重要です。そうした医療処置の必要な子どもたちへの支援が地域で行われることが分かるような記載が必要です。	基本構想（案）に反映しました。	<p>(1) 子ども・若者・教育<P22> (支援を必要とする子ども・家庭への対応) ● <u>医療的ケア児やその家族への切れ目のない支援を推進するため、市町村や関係機関などと連携した支援に取り組みます。</u></p> <p>(2) 健康・福祉<P26> (障がい児・者が地域で安心してくらするしくみづくり) ● 地域移行を含めた、障がい当事者の自立と社会参加を促進するため、障がいの種別等に 応じ、障がい児・者のライフステージに沿って、住居、保健、医療、保育、教育、就労のほか、親元・家族からの自立等を含めた、様々な生活上の課題やニーズに対応する支援体制の整備に取り組みます。また、発達障害や高次脳機能障害など、制度のはざまにある障がいへの対応を図り、障がいの状態にかかわらず、安心して生活できるしくみづくりを進めます。</p>
4	末富委員	若者にとって、痴漢といった性犯罪が深刻です。ともに生きる社会の実現に向けて、そうした人権侵害を撲滅するという観点から、神奈川など特に鉄道に依存する都道府県を住みよくするために不可欠です。また、教職員からの性犯罪、性暴力等の相談窓口のニーズが高まっています。	基本構想（案）に反映しました。	<p>(6) 危機管理・くらしの安心<P33> (犯罪や事故のない安全な地域社会づくり) ● 子どもたちや女性が犯罪に巻き込まれないよう、子どもや女性を守る活動を強化するとともに、高齢者が被害に遭いやすい特殊詐欺やサイバー犯罪などの複雑化・多様化する犯罪に対応するため、犯罪の抑止と検挙を両輪にした取組を推進します。また、市町村や民間支援団体などと連携しながら、犯罪被害者等の相談や支援体制の充実を図るなど、総合的な取組を進めます。</p>

NO	委員名	意見	対応	記載内容等
5	朱委員	年頭から能登半島で大規模地震が発生した状況の中、「(2)大規模地震の切迫性」の記載が少なく感じるため、もう少し記載を充実する必要があります。	基本構想（案）に反映しました。	<p>(2) 大規模地震の切迫性<P70></p> <p><u>東日本大震災から10年以上経過し、未だ復興の取組が継続する中、各地では平成28年熊本地震や令和6年能登半島地震などが発生しており、引き続き大規模災害への備えが不可欠となっています。</u></p> <p>神奈川周辺では、首都直下地震、相模トラフ沿いの海溝型地震、南海トラフ地震等の大規模地震が想定されています。今後30年以内に発生する確率は、首都直下地震では70%、南海トラフ地震では70%から80%とされています。</p>

NO	委員名	意見	対応	記載内容等
新かながわグランドデザイン実施計画（案）について				
6	小池委員	全国と比較が可能な「特定健康診査・特定保健指導の実施率をK P Iに設定することが相応しいのではないか。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	当初、「特定健康診査・特定保健指導の実施率」を指標に盛り込むことも検討しましたが、当該年度の結果が判明するのが3年後（例：2027年度実績は2030年度に公表）となるため、計画期間内の状況が把握できないことから、K P Iに設定しないこととしました。なお、評価に当たっては、設定した数値目標の達成状況だけでなく、構成施策の他事業の取組状況や、全国と比較ができる様々な統計データを活用していきます。<P18>
7	伊達委員	プロジェクトに関連する地域づくりの取組について、県西地域圏の主な事業に「未病の戦略的エリアとしての県西地域の活性化」とあるが、ビオトピアがあるから戦略的エリアなのか。	-	県西地域活性化プロジェクト（改定素案）において、豊かな自然や食材など、様々な地域資源を有し、食生活や運動などライフスタイルを見直して未病を改善する取組を実践する場所として適していることから、県西地域を「未病の戦略的エリア」と位置付けています。<P80>
8	伊達委員	主要施策の「231 難治性疾患及び肝疾患対策などの推進」について、「難治性疾患」と「肝疾患対策」が並列して書かれていることに違和感があるので分けるべきではないか。	-	同等の疾病として扱う意図はなく、疾病対策を総合的に実施する意味合いで、例示列挙しているものです。<P96>
9	伊達委員	主要施策の「234 医薬品などの品質・安全確保対策の充実強化」について、問題なのは薬不足、在庫管理、残薬の問題ではないか。	実施計画（案）に反映しました。	235 医薬品の適正使用の推進<P97> ○2つ目として追記 ○かかりつけ薬剤師・薬局の普及啓発
10	牛山委員	「計画推進」の「2 計画の進行管理」について、「※政策評価は附属機関である総合計画審議会の意見を聴取し実施します」とあるが、事情聴取のように感じてしまうので、「議論を経て」、「審議を経て」などの表現に変更すべきではないか。	実施計画（案）に反映しました。	※政策評価は附属機関である総合計画審議会（計画推進評価部会）の 審議を踏まえ 意見を聴取し、実施します。<P121>

NO	委員名	意見	対応	記載内容等
11	小池委員	各プロジェクトに具体的な取組を記載した取組の中で、K P Iに設定したものはアンダーラインを引くなど分かりやすくしてはどうか。	実施計画（案）に反映しました。	参考資料「1 プロジェクトの指標・K P I・ロジックモデル」において、各プロジェクトのロジックモデルを示すとともに、ご意見を踏まえ、「具体的な取組」のうち、K P Iとして設定したものにマーク（「★」）を付しました。＜P129～154＞
12	和田委員	プロジェクトと主要施策との関係について、A B Cとあるがこれはランク、優先順位を指しているのか。一般市民が見た時に疑問を感じると思う。	実施計画（案）に反映しました。	参考資料「2 プロジェクトと主要施策との関係」 プロジェクトの 構成施策 具体的な取組の区分 ＜P155～160＞
13	朱委員	実施計画内に基本構想の関連付けなど見やすい工夫があってもよいのではないか。	-	冊子の作成に当たって、関連する取組について分かりやすいデザインなどの工夫ができないか検討します。